

のみだより

今号の
表紙

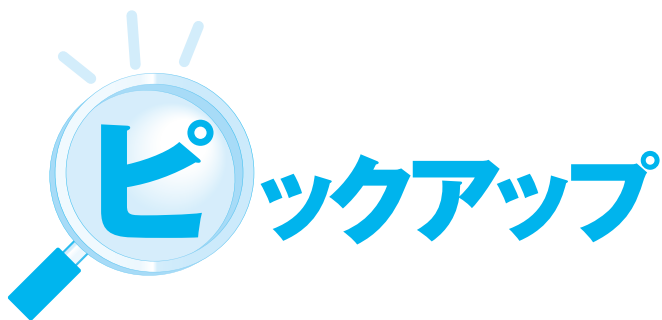
完成を待ちわびる中学生たち

7月13日(月)、辰口中学校講堂建設工事起工式が執り行われました。完成予定は、来年3月中旬となっており、1日も早い完成を心待ちにしている方も多いのではないのでしょうか。

彼女たちは、生徒会の役員として活躍している辰口中学校3年生。講堂が完成するころは卒業を迎えている時期であるため、「私たちも講堂を使いたかったなあ」と少し残念そうな表情も見せていた彼女たちですが、「かわいい後輩たちが使ってくればそれでもいい」と笑顔で話してくれました。こんなに優しく頼もしい先輩の姿を見ている後輩たちも、きっと立派に成長してくれることでしょう。

目次

- ◎ 定例会報告 2
- ◎ 委員会審査報告 3
- ◎ 討論・一般質問 4
- ◎ 議会報告会 11
- ◎ 議会日誌(4月～6月)・編集後記 ... 12



平成27年6月定例会

今定例会は、5月29日(金)から6月19日(金)までの22日間の会期で開かれました。市長から提出された議案16件及び報告3件、議会から提出された議案1件については可決・承認しましたが、請願1件については不採択となりました。主な議案の内容は以下のとおりです。

●町の名称及び区域の変更並びに区域の廃止

いしかわサイエンスパーク内で新たな町の名称や区域が設定されます

いしかわサイエンスパークの土地区画整理事業が終了することに伴い、新たな町の名称や区域が設定されることになります。これまで、いしかわサイエンスパーク内には、宮竹町、灯台笹町、長滝町、大口町、旭台町の一部が点在していましたが、今後は、事業主体である石川県が換地計画の認可申請を行い、旭台1丁目から4丁目までに区分けされる予定です。



▲研究開発施設が集積するいしかわサイエンスパーク

●平成26年度能美市一般会計補正予算（専決処分）

歳入歳出予算の総額が248億6,900万円に

国県支出金や市税、交付金などの収入見込や事務事業実績の精算による不用額等の減額補正を行った結果、既定の歳入歳出予算の総額から5,000万円を減額し、歳入歳出予算の総額が248億6,900万円となりました。

また、公債費に充てるための減債基金に2億4,500万円を積み立てるほか、今後の建設事業に充てる財源を確保するために、建設計画促進基金の取り崩しをやめ、さらに、2億5,000万円が積み増しされました。

●工事請負契約の締結（大成保育園新築工事、辰口中学校講堂建設工事）

大成保育園と辰口中学校講堂の建設工事が始まります

保育園の統廃合計画に基づき、大成保育園が建設されることになりました。

また、より充実した教育環境を提供するため、辰口中学校に講堂が建設されることになりました。



▲大成保育園完成イメージ図

賛否が分かれた議案

○＝賛成、●＝反対、議長（米田敏勝）は採決に加わりません。

議案名	仙 台 謙 三	山 本 悟	田 中 大 佐 久	森 善 克	近 藤 博	橋 本 崇 史	田 中 策 次 郎	開 道 昌 信	嵐 昭 夫	南 山 修 一	居 村 清 二	北 野 哲	倉 元 正 順	米 田 敏 勝	東 正 幸	近 藤 啓 子	山 口 慧 子	杉 田 隆 一
能美市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●	○
能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●	○
専決処分の報告（能美市病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めること）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●	○
専決処分の報告（平成26年度能美市一般会計補正予算（第6号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●	○
「平和安全法制整備法」および「国際平和支援法」関連法案の撤回を求める意見書を政府に送付する請願書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	○	○	●

このほかの議案などの審議結果は、能美市議会のホームページをご覧ください。

【おわびと訂正】のみだより45号3ページの「能美市教育委員会委員の任命」の記事で、「池田一臣委員」とあるのは「池田和臣委員」の誤りでした。おわびして訂正いたします。



平成26年度
能美市一般会計補正予算

予算

◎ 財産管理費の施設改修費が大幅に減額した理由は何か。

▲ 根上窓口センター外壁等改修工事において、解体部分を減らしたことや、材質等の再検討を行ったためである。

◎ 農業振興費の経営体育成支援補助金が減額した理由は何か。

▲ 8経営体が予算要望したが、補助事業採択基準により、採択されたのが2経営体となったためである。

◎ 体育施設費において、根上野球場ナイター設備の撤去が延期された理由と今後の予定は。

▲ 東日本大震災後から資機材の高騰等により、昨年11月の入札が不調となったためである。今後については、7月に再度入札執行を予定している。



▲老朽化に伴い、根上野球場ナイター照明が撤去されます

平成26年度
能美市後期高齢者医療
特別会計補正予算

予算

◎ 保険料の普通徴収分の現年分が減額となっているが、徴収率が下がったのか。

▲ 徴収率は、昨年度より若干上がると見込んでいるが、保険料の軽減措置を拡大したことが影響しているのではないかと。

委員会審査報告

市長から提出された議案や請願は、3つの常任委員会と予算特別委員会に付託し、より詳細な審査を行っています。主な審査内容は次のとおりです。

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務	倉元 正順	嵐 昭夫	杉田 隆一、森 善克 田中大佐久
産業経済	東 正幸	田中策次郎	山口 慧子、居村 清二 開道 昌信、山本 悟
教育福祉	南山 修一	橋本 崇史	近藤 啓子、北野 哲 近藤 博、仙台 謙三
予算	杉田 隆一	北野 哲	議長を除く全議員

能美市病院事業の設置等に関する
条例等の一部を改正する条例

教育福祉

◎ 入所療養介護料などの多床室の居住費を320円から370円に改めた根拠や低所得者への軽減措置は。

▲ 直近の家計調査に基づくものであり、市内の同様施設でも370円に改められ、市外では、それ以上の金額の施設もある。また、軽減措置として、利用者負担が第1段階の場合は、居住費は0円となる。

工事請負契約の締結
(辰口中学校講堂建設工事)

教育福祉

◎ 入札者数や落札率はどうか。また、グラウンド側のよう壁の安全性は問題ないか。

▲ 入札については、4者が応札し、落札率は96.5%であった。よう壁の安全性については、事前調査により影響ないと考えている。

平成26年度
能美市後期高齢者医療
特別会計補正予算

予算

◎ 保険料の普通徴収分の現年分が減額となっているが、徴収率が下がったのか。

▲ 徴収率は、昨年度より若干上がると見込んでいるが、保険料の軽減措置を拡大したことが影響しているのではないかと。

「平和安全法制整備法」および
「国際平和支援法」関連法案の撤回を
求める意見書を政府に送付する請願書

総務

アジアを取り巻く安全保障の環境は厳しくなっており、今回の平和安全法制は、国民の生命や財産、平和な暮らしを守り抜くためにあらゆる事態を想定した体制を整備し、抑止力を高め、戦争が起きないようにするものである。このような重要な案件は、国会で議論を尽くすべきであり、地方議会としての判断は避けるべきである。よって、今回の趣旨に賛同できず反対である。

※今定例会では、産業経済常任委員会に付託された議案はありませんでした。

討論

—こんな理由で賛成・反対しました—

6月19日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。下記にその概要を掲載いたします。

● 平成26年度能美市一般会計補正予算

社会保障・税番号制度費が補正されている。この制度は、国の予算で初期投資に3,000億円、総事業費は3兆円規模と言われており、その後も、維持費やシステム改修費が必要となる。莫大な投資に対しての国民のメリットが見えておらず、情報漏れやなりすまし事件への懸念が益々高くなってきている。危険な制度であるため、一旦、凍結し、時間をかけて検討すべきである。

反 対

近藤 啓子
議員
(日本共産党)

賛 成

近藤 博
議員
(能美保守の会)

平成26年度一般会計は、実質収支が3億5千万円前後の黒字決算となる見込みである。今後も合併に伴う必要な事業があることや本格化する合併特例債の償還に備えるため、建設計画促進基金からの繰り入れを取りやめ、なおかつ、減債基金及び建設計画促進基金を積み増しするとなっている。今年度から始まる普通交付税の一本算定化による交付税の減額に備えるための予算となっているので賛成する。

● 「平和安全法制整備法」および「国際平和支援法」関連法案の撤回を求める意見書を政府に送付する請願書

この法案の内容が明らかになってきた中で、憲法審査会においても「違憲である」と指摘され、速やかな廃案を求めることへ賛同する憲法学者も多い。世論調査においても、今国会で成立させるべきでないという人が6割である。戦争しない平和な日本を後世に引き継ぐ責任が私たちにある。

賛 成

近藤 啓子
議員
(日本共産党)

一 般 質 問



山本 悟 議員
能美保守の会

公共交通システム

◎高齢者の足を拡充させる予約型乗り合いタクシーの導入を検討せよ

◎現行の市のコミュニティバス運行事業や民間交通事業者との連携、共存のあり方、運営主体や事業継続のための採算性や収支、市全体の財政の観点からもクリアしなければならぬ課題がなお山積しているのが実情である。

◎のみバスの利便性向上の為に循環バスと連携バスとの接続を見直せ

◎ダイヤ改正に当たっては、それまでの利用実績や市民の意向など実態調査を踏まえ、その上で公共交通会議を経て決定している。公共交通を限られた財源や資源の中で最大の効果につなげることは最優先するべきことではあるが、広く市民の要望を満たすことができないこともあることをご理解いただきたい。



▲利便性の高い公共交通システムを

◎高齢者や生活弱者にとって更に利便性の高い公共交通システムとなるよう再考せよ

◎地方都市にとって行政、民間を問わず公共交通を住民の足として確保することは、これからの人口減少社会の中で暮らしの質を確保する上で、最も重要な要素となるということは当然のことである。

再考は極めて難しい状況であるが、今後も公共交通システムが少子高齢化問題に直結した重要な課題であることと認識した上で、のみバスの待ち時間や目的地までの所要時間、あるいは新たな交通手段の確保などについて意見や提案を頂き、検討した上で改善すべきところは改善に努めていきたい。



田中 策次郎 議員
能美保守の会

企業誘致と雇用

◎企業誘致は財政的に大きな収入源。さらなる企業誘致推進策は

▲市内で製品開発機能を集約する東芝が県の本社機能立地促進補助事業の1号に認定され、さらなる本社機能移転を促すために補助制度創設を前向きに検討する。

◎誘致企業に市民の正社員の雇用枠の拡大を出来ないか

▲企業の経営方針にも関わることであるが、企業誘致で雇用の場が拡大していけば将来的に市の振興発展が図られる。今後も臨機応変に対応していく。

環境対策

◎家庭の消費電力抑制につながる県事業のクールシェアスポットの活用をどのように推進するのか

▲市民が多く利用できるよう、事業の内容や登録施設や店舗情報のPRを広報誌に加えこれまで以上に周知拡大していく。

◎既存の市施設や指定管理施設に太陽光発電の設置を出来ないか
▲国の基金を利用して根上地区の避難施設である根上総合文化会館に設置出来ないか協議している。

◎寺井地区リサイクルセンターの倉庫が手狭だが改修の予定は

▲今年度、小型家電等を収集する倉庫の増築工事を予定。今後、工事を進める中で、その増築部分を更に拡大できないか検討する。

◎今後の環境活動を行政と市民がどのような形で一体化して進めていくのか取組み方を問う

▲市民環境ネットワークの活動支援や街灯のLED化、北陸先端大にも協力頂き市内で環境保全や環境教育の活動に取り組んでいる団体と連携し対応していく。



▲多くの方が利用している寺井リサイクルセンター

一般質問



田中 大佐久 議員
能美保守の会

障害者福祉

◎どのような支援策に取り組んでいるか。今後の取り組みは

▲介護給付事業、訓練等給付事業等で障害福祉サービスの提供を行っている。能美市単独の支援として、身体障害者福祉協議会や手をつなぐ育成会、障がい児を持つ親の会、精神障害者の支援者に補助金の形で活動費を助成している。能美市は3年前と比較し、障害福祉サービスの事業所が2倍に増えたが、障がいのある方が利用場所を自由に選択するまでに至っていない状況である。障がい児を含め障がいのある方が住みよいまちになるよう、今後も努めていきたい。

高齢者対策

◎在宅及び施設サービスの充実を図れ

▲地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅サービスの充実を視野に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を辰口地区にまず1カ所整

備する。今後は動向を見ながら、根上地区、寺井地区にも整備していきたい。
施設サービスは現在の施設数を維持しながら状況を見ていきたい。

◎相談・支援体制の充実を図れ

▲能美市高齢者支援センターを4月から高齢者かがやき支援室とし、相談・支援を行っている。平成26年度は年間延べ2196件の相談に対応した。平成19年度の1144件に比べて大幅な増加で、今後も体制の強化が重要である。

10月から、各日常生活圏域（根上・寺井・辰口の各地区）に高齢者支援センターを開設する。各センターの運営は、これまでの市直営ではなく委託とする。今後は3カ所のセンターと高齢者かがやき支援室が連携し、これまで以上に支援体制を強化していきたい。



▲介護相談に対応する保健師



嵐 昭夫 議員
市 民

九谷焼の振興

◎九谷焼振興協議会の活動状況と九谷焼をアピールする英語版パンフレットの必要性を問う

▲昨年度、若手作家と有名作家の作品を並んで展示する「ぐいのみ・平盆貸出事業」を行うほか、手軽に持ち歩ける九谷焼パンフレットを作成した。観光宣伝の必要があれば英語版も対応していく。

◎外国人の誘客を促す知恵と工夫が必要ではないか

▲ホームページやパンフレットの多言語対応や無縁LANも資料館や陶芸館に整備した。また、作品解説などの英語表記も進めている。外国人でも利用可能な公共交通の整備や、習慣の違いによる公共マナーの問題等にも対応していく。

いしかわサイエンスパーク

◎造成地の有効利用は、地元町会も期待している。積極的な働きかけが重要ではないか

▲県関係部署と連携した「いしかわサイエンスパーク研究所等誘致推進協議会」により情報交換やPRを行っている。昨年は、データセンター関連企業を招き、いしかわサイエンスパーク内の見学会も開催し、評価も得た。サイバー攻撃を防ぐための研究開発拠点も設けられており、新たな研究所の誘致の起爆剤になればと考えている。

能美根上インターチェンジ

◎事前評価による1日平均の利用台数は。また、企業誘致による利用台数増加の対策を推進すべき

▲平成42年の将来推計では、1日平均1,450台を見込んでいる。能美市のアクセスが飛躍的に向上すると考えており、企業誘致に利用しているパンフレットやホームページに記載し、積極的にPRを進めている。



▲九谷焼振興協議会が作成したパンフレット

一般質問



東 正幸 議員
能美保守の会

新幹線効果と誘客対策

◎新幹線開業後の初めての九谷茶碗まつりに新幹線波及効果がどうだったか

▲来場者が昨年を1万人下回ったと発表されているが、会場を回った印象では、数字はともあれ例年並みか例年以上のにぎわいがあったと思っている。総括としては、効果があったと認めている。

◎九谷茶碗まつりで運行したシャトルバスで若手職員のバスガイド役の反応と評価はどうだったか

▲「若い市職員のガイドが非常に楽しかった」「職員の仕事の紹介やパンフレットに載っていないミニ情報提供がありとても新鮮で楽しく過ごせた」との反応があり、総じて評判は良かった。

◎北海道新幹線開業に対し市としての魅力発信は

▲市単独での対応は限界があり、各自自治体はもとより、県内、北陸地区が結集して取り組む課題であ

る。先に開催されたオール加賀会議の総会では、今年度は昨年度の倍となる予算が承認され、南加賀全体としての魅力を発信するイベントを通じて能美市の魅力発信に心がける。

◎能美市の三大まつりへの誘客対策及び今後の企画は

▲能美市三大まつりは成り立ちや目的、性格や対象とする客層等、PRの手段、方法も違ってくる。

何といっても地元住民が気軽に足を運び、愛され誇りに思えるまつりが前提条件であり、市のブランド戦略との整合性も図り、各地区の意見を聞き考えていきたい。

三大まつりのあり方については、色んな皆さんの意見を聞き、新しいあり方を模索する時期だと思つて決してみつりを否定するのではなく、市民が参画しながら楽しめるまつりにしていくにはどうしたら良いかの検討も必要だと思つた。



▲シャトルバスで能美市の魅力をPRする市職員



開道 昌信 議員
真政会

統一的公会計の整備促進

◎本年1月に国から通達があった公会計新基準への移行スケジュールを示せ

▲28年度決算をもとに作成するので、移行期間最終年度の平成29年に切りかわる予定である。

◎基準移行に合わせ、これまでの現金主義、単式簿記から、発生主義、複式簿記へ移行すべきでは

▲今回は発生主義の観点からストック情報やフロー情報を総体的に一覧的に把握することを主眼としており、直ちに複式簿記へ移行するものではない。あくまでも現行予算・決算制度を補完する位置付けとして捉えている。

◎公会計新基準を整備推進していく上での問題点は何か

▲大きなネックは固定資産台帳の整備である。2か年かけて整備する計画ではあるが、量が多く、調査にも時間がかかる。全庁的に課題解決に取り組む必要がある。



▲公共施設の適正な管理を

◎固定資産台帳整備は委託を行い、整備期間の短縮を図ってはどうか

▲道路、上下水道等インフラ資産を含めた多種多様の施設が対象となる。正確性を期すため、必要に応じて、実地調査を行い、精緻化、整合性のとれた台帳整備を図るが、膨大な事務作業が予測される。そこで、業務委託を行い短期間で効率的な整備を目指したい。

公共施設等総合管理計画

◎公共施設等総合管理計画の策定期間はいつか

▲固定資産台帳の整備と並行しながら、今年度内に策定を終えたい。

◎公共施設等総合管理計画を策定していく上での問題点は何か

▲財政状況とも関連がある重要な計画であり、早期、短期間に策定する必要があるが、固定資産台帳の整備と密接な関係にあり、台帳の進捗いかんにより、策定に影響が出ることが懸念される。

一般質問



近藤 博 議員
能美保守の会

水素エネルギー社会

◎次世代のクリーンエネルギーである水資源を活用した水素エネルギー社会構築について問う

▲他県の下水処理場では、汚泥からのメタンガス発電による水素を生産しており、自然エネルギーの活用を検討することは肝要だ。今後は、発電所を稼働させている宮竹用水土地改良区や北陸先端大などの連携協議で計画の可能性を探っていききたい。

人口減少問題

◎少子高齢化による高齢者の増加、65歳以下の人口減少問題について市の認識を問う

▲長期人口ビジョンの基準年を2060年に設定し、総合戦略策定作業を進めている。生活のさまざまな場面でお互いが役割分担をして支え合いで連携し、全員が地域の支え手になり、地域の中で幸せが循環し、安心して住み続けられる社会を目指していきたい。

高齢者対策

◎車の運転ができない高齢者を公助ではなく、地域が共助で行えるような支援を推進せよ

▲市と社会福祉協議会が連携し検討している。社会福祉協議会は、支えあいのしくみづくり委員会等を設置し、課題について検討している。その結果、ほぼ全町会・町内会で地域福祉委員会が設置され、地域福祉推進員も200名を数える体制ができた。この体制を受け、生活支援コーディネーターと生活支援サービスマン推進協議体を設置し、日常生活のちょっとした支援や買い物、通院などの送迎支援など、地域の力の活用でどのようなサービスが展開できるか、今後のあり方、方向性を検討していきたい。



▲地域の課題について協議する地域福祉委員会



近藤 啓子 議員
日本共産党

マイナンバー制度

◎預金口座まで対象となるマイナンバーは、人権侵害や情報漏えいの危険性を拡大するのではないかと
◎個人情報情報は、各行政機関等が分散管理し、アクセスできる者も制限し、個人情報及び通信の暗号化によって、システム面での安全確保を図る。年金情報の漏えいなど新しい制度では、種々問題が発生することもあると思うが、国が、予防策、安全策を講じていくと考えている。

◎企業や事業所では、システム改修やセキュリティ対策が必要になる。市の相談支援対策はどうか

◎企業に対しては国が広報活動を行う。市として財政的支援や個別の相談は検討していない。

◎コンビニでの住民票等の交付は、個人情報の洩れやシステムへの介入をしやすくするのでやめるべき
◎コンビニでの交付サービスは700の市町村が計画中である。住

基本カードもマイナンバーカードも危険性は同じである。行政機関が管理する個人データはセキュリティに守られ、難しい仕組みで構築されている。たとえ番号が流出したとしても、個人情報盗み出すことは非常に困難であり、不正は極めて考えにくい。

子どもの貧困問題

◎子ども6人に1人が貧困層。本腰を入れた実態調査をやるべきではないか

◎福祉課と健康福祉部各課で福祉総合相談事業を実施し実態把握に努めるほか、子育て支援センターに来園された方の相談にもしつかりと対応していく。



▲手続きの簡素化を目的に導入されるマイナンバー制度

一般質問



森 善克 議員
能美保守の会

人口減少問題

◎市内への移住促進のために、県内外に対して市の利点をさらに前面に出したPR活動を推進せよ

◎主に県内在住の子育て世代をターゲットにした子育て専門誌への支援施策や市の魅力情報の提供、県内外の方を対象にした中山間地区での宿泊型移住体験ツアーの実施、来年1月に開催される東京での移住交流フェアへの参加を検討中である。

◎大学の学部や専門学校等高等教育機関の誘致、及び先端大学に4年制学部設置の働きかけをせよ

◎少子化により大学経営そのものが厳しくなると予想され、能美市レベルの市として非常に困難である。北陸先端大の四年制学部新設についても市として判断すべきことではなく現状では述べることはできない。北陸先端大の活性化に市としていかに協力していくかが重要である。

◎出合いの場の創設を実施している市民グループと連携し婚活と定住化を一体化した施策を検討せよ
◎出会いの場を演出する人の育成とネットワーキング化、公共施設を含めた場や情報の提供、そして何よりも地域全体で人を育てるという意識づくりが今後必要であり、現在策定中のまち・ひと・しごと総合戦略の中にも基本的な事項を盛り込んでいきたい。

能美根上駅駐車場

◎JR能美根上駅西口側にも、月極めではない駐車場の設置を検討せよ

◎今回の整備では時期尚早とされた経緯があり、できれば民間活力による駐車場設置が望ましいと考えているが、今後、環境の状況、近隣の町内会の状況等、色々な条件整理の中で再度検討する必要があるのかどうか、色んな形で注視していきたい。



▲JR能美根上駅西口側駐車場の利便性向上を



仙台 謙三 議員
公明党

いしかわ文化振興条例

◎子どもが文化に触れる機会、学校教育・高齢者および障がい者などの文化活動の充実をはかれ

▲条例の基本理念は、多彩で質の高い石川の文化を広く国内外に発信するとともに、文化交流を一層盛んにし、さらに磨きをかけ県民共通の財産として次の世代へ継承することである。

これまで行ってきた様々な事業のさらなる充実をはかり、伝統工芸・九谷焼の作家、また書や絵画などの素晴らしい人的資源の力も借りながら、文化の振興に努めていきたい。

生活道路の危険度分析

◎国土交通省が調査・収集している危険個所のデータを活用し、生活道路の更なる安全をはかれ

▲国土交通省では、交通事故減少のため、自動車の走行状況や、急ブレーキの位置などのデータを収集・分析、危険が潜む生活道路を

割出し、道路を管理する自治体に対応を促す取組みを始める。市としてデータ活用を要望するかは、制度運用の詳細が判明した後、判断する。

外国人観光者への対応

◎外国人観光者への通訳の手配は

▲市のボランティア通訳登録制度は、市内在住外国人の生活支援が、主な目的である。外国人観光者の対応のためには、外国語ができる人材の発掘や、市の制度に頼らない通訳者確保の仕組み作りを進めたい。

◎日本語以外での対応時に活用できる絵と多言語によるコミュニケーション支援ボードの導入は

▲必要最低限のやり取りが可能な「コミュニケーション・シート」のひな型を、商店向けに市の担当部署が作成し、導入から運用までの支援ができる様、準備を進めている。



▲外国人観光者へのサポートを

一般質問



山口 慧子 議員
日本共産党

安全保障関連法案

◎後方支援活動によって、自衛隊が敵から狙われ、最悪の事態も想定される。市長の見解はどうか

▲軍事的にも外交的にも高度で専門的な分野に関わる大変重要な問題であり、小さい地方自治体の首長の私ごときに理解できない難しい問題。しっかりとこの国会の論戦を通じて国民に理解されるように説明していただくことが大事だと思う。

◎紛争地で他国部隊の要請にこたえ、外敵からの攻撃に反撃するのはまさに戦闘任務ではないか

▲自衛隊員のリスクも高まることは否定しがたいと思う。自衛隊員の職務は国民の安全・安心を守るための防衛を担う危険な業務につくということで、自ら志願してはいられた方々だからそれだけの覚悟は持っていると思う。そういう時は安倍首相のいうように回避するのがベターと思う。

◎集団的自衛権の発動で、自衛隊から犠牲者が出ると言われている。集団的自衛権はやめるべき

▲昨年の安保法案の閣議決定の際の記者会見で言われたことを守っていたのだと思う。そういう点からすると戦争法案でもなんでもないと。しかし、憲法9条の事もあるので、国会で論議を重ねていただきたい。

旧辰口保育園の解体

◎旧辰口保育園の解体がまだにされていない。計画が大幅に遅れている理由と今後の予定は

▲当初建物解体後、更地を宅地分譲を目的に売却する予定だった。民間業者が解体する単価が、市の単価に比べて非常に安いということで、建物付きで売却する。



▲建物付きで売却する旧辰口保育園



橋本 崇史 議員
喜政会

ふるさと納税

◎4月に制度が改正され、大変利用しやすくなった。返礼品などを変更すべきではないか

▲現行では、5万円以上の寄附者に対し、単一の返礼品であるものを、返礼品の種類を増やすと共に、寄附金額に応じ寄附者が複数の品目の中から返礼品を選べる制度へと見直し作業を進めている。寄附金をどのような形で能美市のまちづくりに活用したかの報告を行い、寄附者と能美市のご縁が続くように心がけていきたい。

◎PR方法やポイント制度などふるさと納税を多く集めるための施策は考えているのか

▲インターネットでの寄附金申し込み受け付けや全国ネットワークの郵便局との連携を検討する。また、ポイント制度の導入を検討し、贈答シーズンに活用してもらう等、いろいろ考えられるが、寄附者に関心を持ってもらえるように段階的に内容の充実に向けていきたい。

地域経済分析システム

◎地域経済分析システム（RESAS）をどのように地方版総合戦略に活かしていくのか

▲総合戦略の策定に当たり、システムから得られる客観的データは数字で表された事実を見つめるツールとなり、重要なのはデータが示す現状の要因を見極めることにある。

戦略とは強みを生かし、他とどこで勝負するかという具体策であり、データと現実をしっかりと見極めることが課題の本質を解決する効果的な施策につながるものである。また地域の重要な産業の分析などは効果的な企業誘致やそれに伴う定住促進を行う上で効果的な情報である。



▲インターネットでどなたでも活用できる地域経済分析システム

一般質問



南山 修一 議員
勉 誠

市域活性化

◎（仮称）能美根上インターチェンジの沿線に工業団地や商業施設誘致のための用地を確保すべき

▲有効な土地利用が可能であれば美川地域以上の賑わい創出が可能であると思っている。地域にふさわしい商業施設や宿泊施設が出来ないか検討を進めている。

土地利用

◎岩内町内での商業施設構想も土地利用規制で頓挫した。現状と今後の利用計画は

▲土地利用制度の問題をクリアして、適正規模の商業施設を東部地区に建設できないか最大限の努力をしたい。

◎旧辰口フラワーハウスの現状と今後の利用計画は

▲一部地権者から理解が得られていない。この状況が続くようであれば、次善の策も検討しなければならぬと考えている。

◎都市計画マスタープランの見直しを地方創生総合戦略においてどのように取り組むのか

▲土地利用構想と今後予定している都市計画マスタープランとの整合性をどのように図ればよいか各関係機関と協議調整を行っている。

子育て支援

◎育児短時間勤務制度を官公庁が率先して実践し、民間企業に波及できるように制度設計を急ぐべき

▲これまで、一般職の職員の取得はないが、能美市立病院では、すでに4名利用している。この制度については、専門職のみならず一般職も含めて今後、周知し、利用を促進していきたい。女性だけに子育ての負担を強いるのではなく、男性の育児休業の取得など子育て参加についても啓発を行い、必要な場合は、代用職員を確保するなど子育てしやすい環境づくりに努力したい。



▲子育てしやすい環境づくりを

「開かれた議会」 「信頼される議会」を目指して 議会報告会

5月12日(火)、辰口福祉会館において議会報告会を開催しました。3月定例会で行われた予算審議の内容や災害が発生した時の議会としての取り組みなどについて議員が説明し、その後、意見交換を行いました。

この報告会は、15日(金)に寺井地区公民館、20日(木)に根上総合文化会館でも開催し、3会場で合計80名が参加。頂いたご意見・ご要望は、今後の議会活動に反映していきたいと思っております。報告会で参加者から頂いた質問の一部をご紹介します。



▲5月20日に開催された議会報告会（根上総合文化会館）

議会活動

Q 議員の考え方や意見はどのように施策に反映されるのか

A 一般質問や各委員会での議論を通して意見を提案している。また、議員の意見を施策に反映させるため、各委員会でテーマを決めて、そのテーマについて調査・研究を行っている。

Q 災害発生時に、市議会として災害対策支援本部（以下「支援本部」）を設置するところがあるが、市災害対策本部（以下「市本部」）との棲み分けは

A 市本部が設置された場合に、議会として支援本部を設置する。市本部と情報共有を行う等、市本部に対して側面から応援する。

Q 若い世代が議会に関心を持ってもらうための方策はあるか

A フェイスブックやツイッター等、SNSを活用し情報提供を行っている。

市政・要望

Q 地方創生の具体的な動きや特に力を入れている政策は何か

A 能美創生総合戦略有識者会議を中心に、能美市の今後10年の計画が策定される。人口減少問題等を克服するため、子育て支援の充実や定住化の促進、企業誘致等に積極的に取り組んでいく。

Q 新幹線開業による能美市の経済効果はどうか

A 先に開催された九谷茶碗まつりにおいて、金沢駅から会場へ結ぶシャトルバスを多くの県外来場者が利用した。今後、市議会交通対策特別委員会としても検証していく。

～議会報告会に参加しました～



知り合いの議員から議会報告会があることを聞いて参加した。形式的な報告より、どんな議論をしたのかを聞きたかった。機会があれば、議会傍聴に行つて、議員の一生懸命な姿を見てみたい。

山崎日出男さん(緑が丘)

感想やご意見

初めて参加したが、このような報告会は大切である。今後も続けてほしい。

災害対策支援本部設置によるマニュアル整備はよかった。参加者の増員に工夫してほしい。特に女性の参加者が少ない。

質問に対する意見を語り合う時間が必要。開始時間を早めてほしい。

市の各施策について、議論のプロセスや論点、合意形成プロセス等を知りたい。



議会報告会にご参加いただきありがとうございます。今後、より多くの市民の方に参加いただけるよう、より分かりやすい議会報告となるよう、皆様のご意見を参考にして、開催方法や内容を改善していきたいと思います。

議会報告会班長会
座長 森 善克

こんな活動しています

総務…総務常任委員会
産経…産業経済常任委員会
教福…教育福祉常任委員会

議運…議会運営委員会
全協…議会全協協議会
広報…広報特別委員会

基地…基地対策特別委員会
交通…交通対策特別委員会
活性化…議会の活性化に関する検討会

4月

- 9日 広報(議会だより45号の編集)
議運(第2回会期日程他)
全協(〃)
- 14日 広報(議会だより45号の再編集)
- 21日 産経(各課報告)
- 22日 総務(各課報告)
- 24日 活性化(議会アンケート)
- 27日 教福(各課報告)

5月

- 1日 議運(議会報告会)
全協(〃)
- 11日 教福(各課報告)
- 12日 議会報告会(辰口福祉会館)
- 13日 視察受入(協働型まちづくり:千葉県君津市)
- 14日 視察受入(市民協働まちづくりセンター:茨城県取手市)
- 14日 議会報告会(寺井地区公民館)
- 18日 産経(各課報告)
総務(各課報告)
- 19日 視察受入(定住促進・企業誘致・観光行政:茨城県高萩市)
- 20日 議会報告会(根上総合文化会館)
- 22日 議運(第2回定例会会期日程)
全協(〃)
活性化(議会アンケート)
- 27日 議運(一般質問発言順)
活性化(議会アンケート)
- 29日 議運(議事日程)
全協(〃)
本会議(開会、議案上程、提案理由説明)

6月

- 3日 議運(議事日程)
全協(〃)
本会議(一般質問)
- 4日 本会議(一般質問、質疑、委員会付託)
予算特別委員会
活性化(議会アンケート)
- 5日 予算産経分科会(付託案件の審査)
- 9日 交通(のみバスの状況他)
- 11日 総務、予算総務分科会(付託案件の審査)
- 12日 教福、予算教福分科会(付託案件の審査)
- 15日 活性化(議会アンケート)
- 16日 予算特別委員会
議運(議会アンケート他)
全協(〃)
- 17日 議運(議事日程)
全協(〃)
本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)
広報(議会だより46号のレイアウト案)
- 29日 総務(総合戦略)
- 30日 活性化(議決事件の拡大)

市議会に関する市民アンケートを実施

能美市議会では、市民にわかりやすく、開かれた議会づくりに向けて、市民の皆さまの議会に対するご意見やご提言を把握し、今後の議会活動や議会改革に反映させるため、20歳以上の方々から2,000名を無作為抽出して市民アンケートを実施しています。

現在は、アンケート調査は終了し、集計作業を行っています。集計結果がまとまり次第、のみだよりや市ホームページに掲載する予定です。

本会議の録画映像を
HPで配信しています

能美市議会映像配信

検索

平成27年

9月定例会のお知らせ (会期:9月1日～9月17日)

皆さまお気軽に傍聴に
お越しください

- 9月 1日(火) 提案理由説明
- 9月 8日(火) 一般質問
- 9月 9日(水) 一般質問
- 9月17日(木) 委員長報告、
討論、採決

ご意見・ご感想

『のみだより』へのご意見・ご感想や能美市議会へのご意見などございましたら、下記の宛先までお寄せください。

〒923-1297 能美市来丸町 1110 番地
能美市議会事務局

T E L : (0761)58-2240

F A X : (0761)58-2295

E-mail : gikai@city.nomi.lg.jp

編集後記

北陸新幹線金沢開業から早や4か月。先日金沢駅構内、話題の「金沢おでん」のお店を訪れた。これまで待つことのなかったお店に入るのに30分。カウンター席に通されると、旅は道連れ左隣には長野、右隣には高崎から観光で来られたご夫婦と一緒する事になった。飲む、食べるよりも、お国自慢に熱が入りあっという間に時刻が過ぎていく。帰路につこうと席

広報特別委員会 委員長: 嵐 昭夫 副委員長: 開道 昌信

を立つと、両方のご夫婦から「石川、良い所ですね」とお声が掛かった、当方も思わず「有難うございます」と応えていた。「小さなご縁」に出逢え、心がとても温かく、そして嬉しくなった。新幹線の福井延伸が実現し、人と人の触れ合い、心の交流が南加賀でもたくさん生まれるのを期待したい。

(開道 昌信)

委員: 田中 策次郎、橋本 崇史、田中大佐久、仙台 謙三



能美市議会だよりは環境に優しい再生紙
及び大豆インキを使用しています。

